

第3評価期間認証評価に関する ALO対象説明会

第2評価期間(平成28年度まで) からみた留意点等について

平成29年8月25日(金)

於:一橋大学「一橋講堂」



第2評価期間の評価結果

※ 再評価校は除く。

| 区分 | H24年度 | H25年度 | H26年度 | H27年度 | H28年度 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 評価校 | 33 | 42 | 56 | 47 | 64 |
| 適格 | 33 | 41 | 56 | 47 | 64 |
| 条件付き適格 | 2 | 0 | 0 | 3 | 3 |
| 保留 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |

平成24年度～平成28年度評価校の合計:242校

平成29年度評価校 48校

本日の説明

① 第2評価期間の「三つの意見」からみた評価の概要

- 評価された事項（「特に優れた試みと評価できる事項」、課題（「向上・充実のための課題」）や問題点（「早急に改善を要すると判断される事項」）として指摘された事項などを通して、第2評価期間の評価内容や課題等をみる。

② 今後の評価に向けての留意点

- 「平成28年度第三者評価を振り返って」（平成29年4月14日付け 通知文書）に記載した、「今後の評価に向けての留意点」を確認する。

① 第2評価期間の「三つの意見」から みた評価の概要

Japan Association for College Accreditation 5

第2評価期間「三つの意見」の記述数

| 基準 | テーマ | 優れた試み | | | | | 向上・充実 | | | | | 早急改善 | | | | | | | | |
|---------------|------------------------|-------|----|----|-----|----|-------|-----|----|----|----|------|----|-----|----|----|----|----|----|----|
| | | (年度) | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 合計 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 合計 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 合計 |
| 建学の精神と教育の効果 | A 建学の精神 | | 13 | 26 | 25 | 23 | 33 | 120 | 3 | 2 | 1 | 3 | 1 | 10 | | | | | | |
| | B 教育の効果 | | 19 | 18 | 31 | 20 | 39 | 127 | 7 | 8 | 13 | 8 | 21 | 56 | 1 | 1 | 3 | 4 | 8 | 17 |
| | C 自己点検・評価 | | 11 | 7 | 15 | 9 | 10 | 52 | 6 | 15 | 12 | 9 | 14 | 56 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 2 |
| 教育課程と学生支援 | A 教育課程 | | 27 | 41 | 40 | 43 | 57 | 208 | 22 | 30 | 30 | 31 | 55 | 168 | 1 | 5 | 3 | 2 | 4 | 15 |
| | B 学生支援 | | 51 | 67 | 101 | 85 | 104 | 408 | 17 | 12 | 7 | 12 | 11 | 59 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 教育資源と財的資源 | A 人的資源 | | 23 | 27 | 23 | 17 | 26 | 116 | 20 | 19 | 32 | 16 | 19 | 106 | 1 | 1 | 1 | 1 | | 4 |
| | B 物的資源 | | 10 | 24 | 19 | 17 | 23 | 93 | 5 | 6 | 14 | 5 | 9 | 39 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | C 技術的資源をはじめとするその他の教育資源 | | 6 | 4 | 10 | 11 | 12 | 43 | 3 | 0 | 3 | 1 | 2 | 9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | D 財的資源 | | 5 | 7 | 3 | 3 | 3 | 21 | 13 | 15 | 14 | 15 | 37 | 94 | 1 | 0 | 1 | 3 | 5 | 10 |
| リーダーシップとガバナンス | A 理事長のリーダーシップ | | 12 | 5 | 12 | 5 | 9 | 43 | 2 | 3 | 0 | 3 | 7 | 15 | 2 | 0 | 3 | 3 | 1 | 8 |
| | B 学長のリーダーシップ | | 8 | 3 | 5 | 6 | 11 | 33 | 1 | 3 | 4 | 1 | 4 | 13 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 3 |
| | C ガバナンス | | 5 | 2 | 3 | 2 | 2 | 14 | 1 | 2 | 2 | 2 | 8 | 15 | 2 | 1 | 0 | 3 | 6 | 11 |

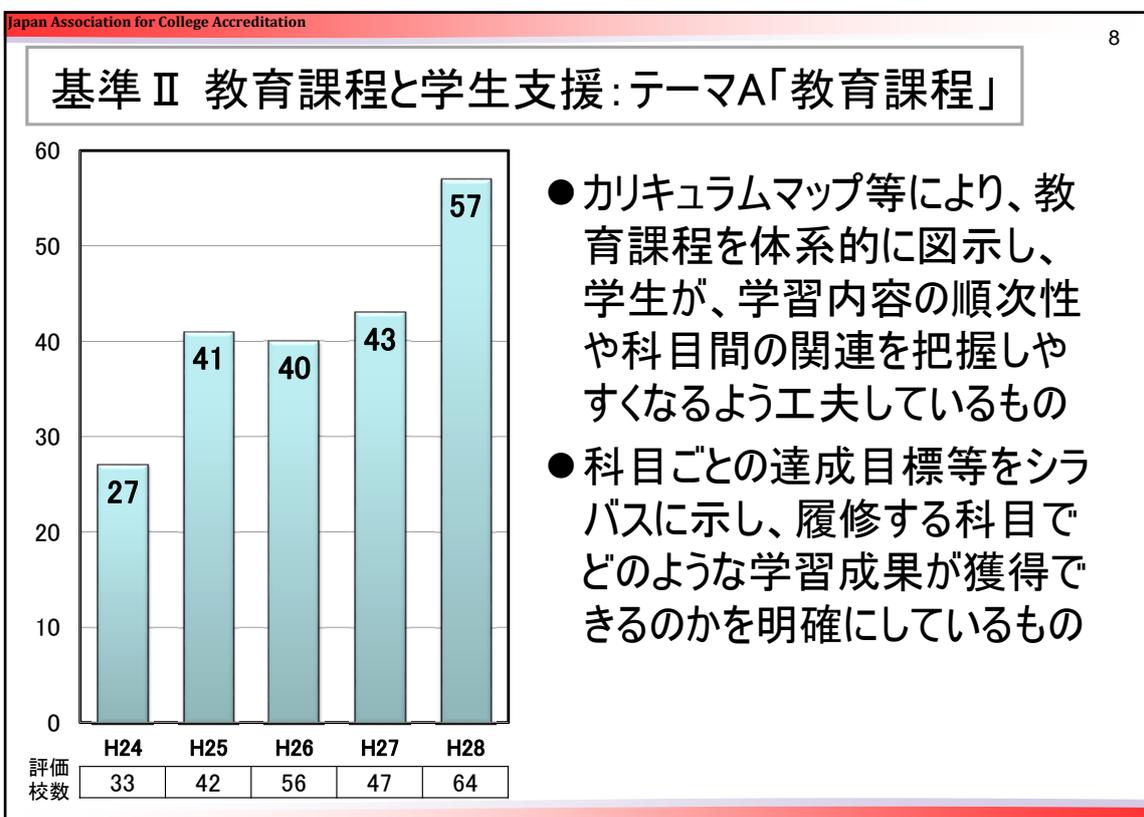
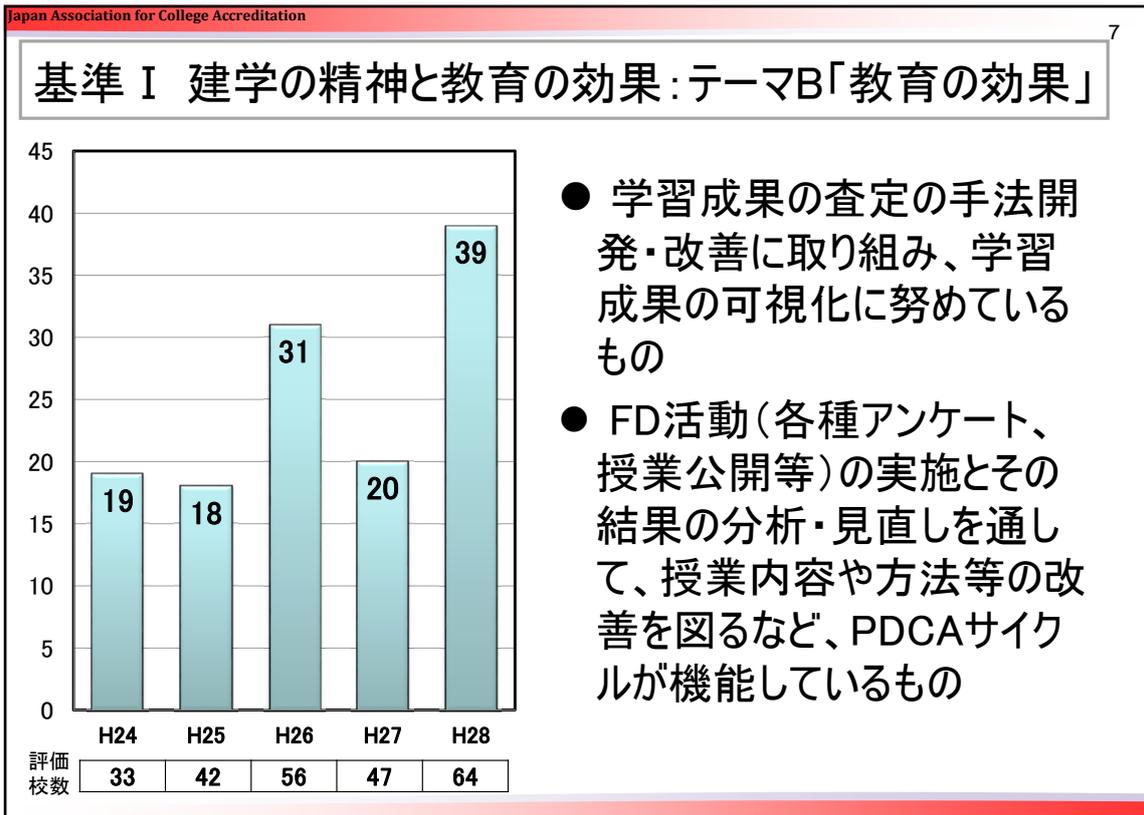
※ 記述・指摘のないテーマは除く

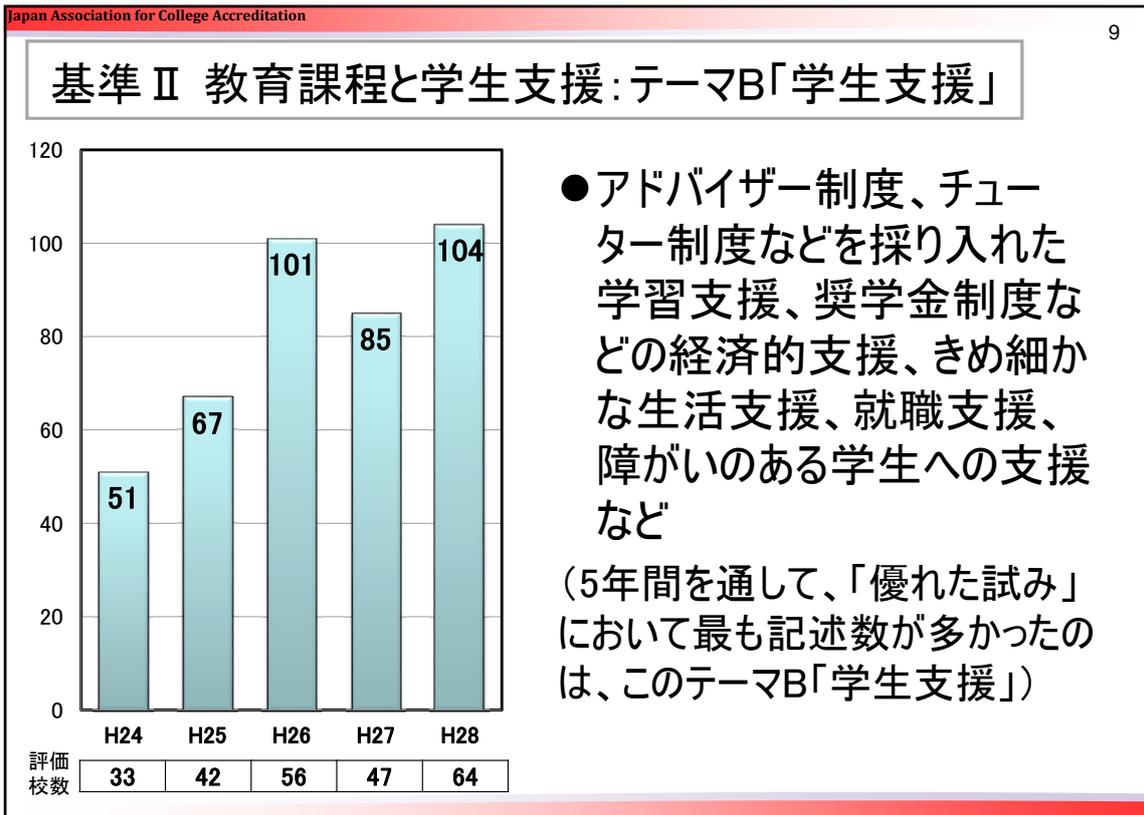
Japan Association for College Accreditation 6

特に優れた試みと評価できる事項

評価された事項の多かったテーマ

- 基準Ⅰ 建学の精神と教育の効果：テーマB「教育の効果」
- 基準Ⅱ 教育課程と学生支援：テーマA「教育課程」
- 基準Ⅱ 教育課程と学生支援：テーマB「学生支援」





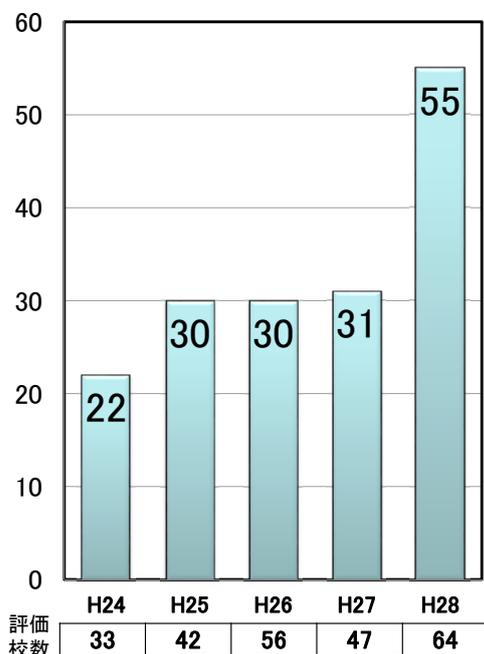
Japan Association for College Accreditation 10

向上・充実のための課題

指摘事項の多かったテーマ

- 基準Ⅱ 教育課程と学生支援: テーマA「教育課程」
- 基準Ⅲ 教育資源と財的資源: テーマA「人的資源」
- 基準Ⅲ 教育資源と財的資源: テーマD「財的資源」

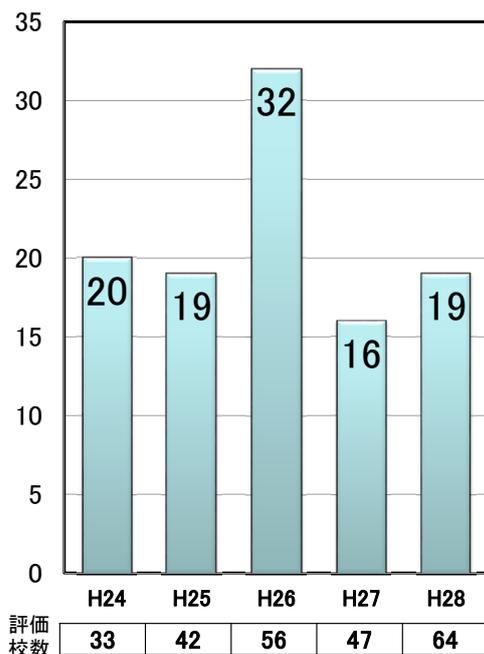
基準Ⅱ 教育課程と学生支援: テーマA「教育課程」



＜シラバスに関する指摘＞

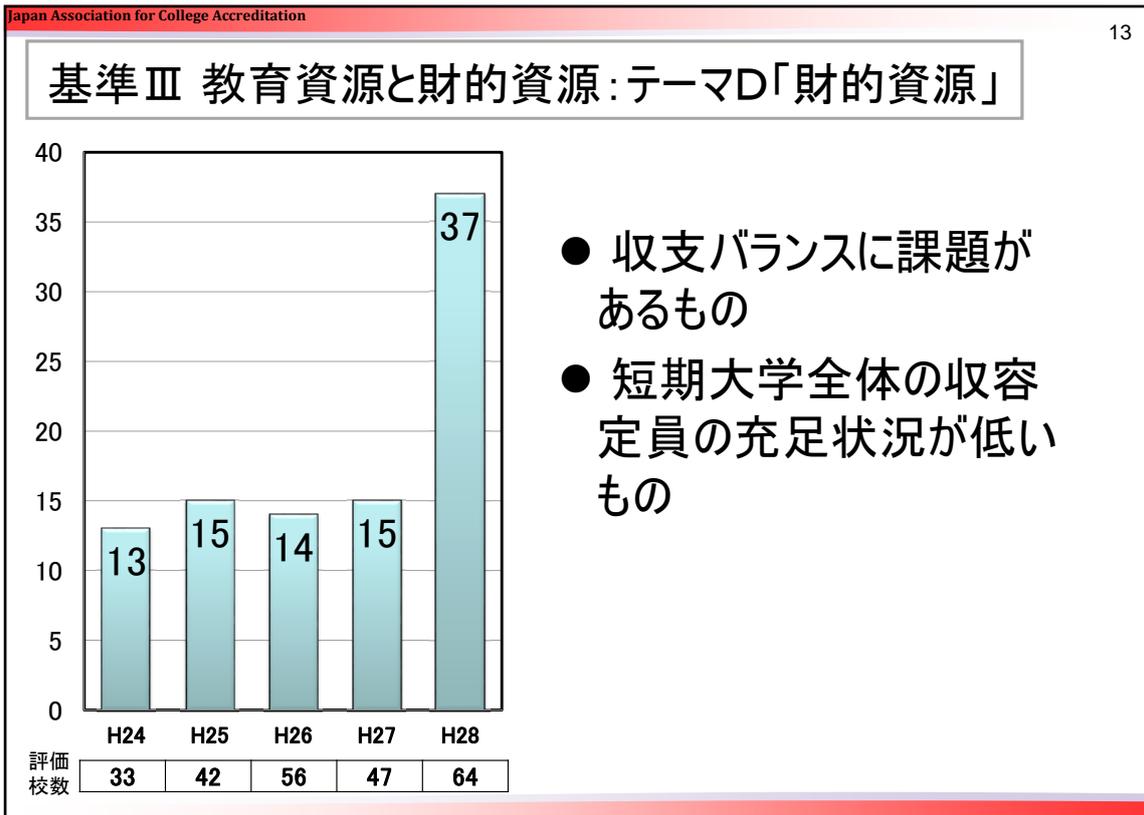
- 各授業科目の成績評価の方法や達成・到達目標など、必要な事項の記載を求めるもの
- 成績評価の方法に「出席点」が含まれており、改善を求めるもの
(H28年度評価から指摘)
- 必要な記載事項はあるものの、記載方法や内容にばらつきがみられるため、組織的なチェック体制等の構築を望むもの

基準Ⅲ 教育資源と財的資源: テーマA「人的資源」



- 研修会や成果発表など、SDは行われているものの、それらの活動に関する規程が未整備のため、規程の整備と、規程に基づく組織的取組みを望むもの

(昨年度は8件。また「FD活動に関する規程の未整備」の指摘も3件)



Japan Association for College Accreditation 14

早急に改善を要すると判断される事項

主な事例(テーマ別)

基準Ⅰ 建学の精神と教育の効果

[テーマ] 基準Ⅰ-B 教育の効果

- 短期大学設置基準第2条のとおり、学科(又は専攻課程)ごとに、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的が学則等に定められていない。(16件)

| | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| H24(1) | H25(1) | H26(2) | H27(4) | H28(8) |
|--------|--------|--------|--------|--------|

[テーマ] 基準Ⅰ-C 自己点検・評価

- 自己点検・評価報告書の公表が学内にとどまっており、学外に公表されていない。(2件)

| | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| H24(0) | H25(0) | H26(1) | H27(1) | H28(0) |
|--------|--------|--------|--------|--------|

※ 文末()の数字はH24年度～H28年度の総数。その下に各年度の件数を表示

基準Ⅱ 教育課程と学生支援

[テーマ] 基準Ⅱ-A 教育課程

- 授業期間内に定期試験が組まれるなど、短期大学設置基準に従って1単位当たり15時間の授業時間が確保されていない。(12件)

| | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| H24(1) | H25(4) | H26(3) | H27(0) | H28(4) |
|--------|--------|--------|--------|--------|

基準Ⅲ 教育資源と財的資源

[テーマ] 基準Ⅲ-A 人的資源

- 評価年の5月1日現在において、教員組織の教員数・教授数に不足があり、短期大学設置基準を満たしていない。(4件)

| | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| H24(1) | H25(1) | H26(1) | H27(1) | H28(0) |
|--------|--------|--------|--------|--------|

[テーマ] 基準Ⅲ-D 財的資源

- 収支バランスなどに課題・問題がある。(8件)
(※ 条件付き適格)

| | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| H24(1) | H25(0) | H26(1) | H27(3) | H28(3) |
|--------|--------|--------|--------|--------|

基準Ⅳ リーダーシップとガバナンス

[テーマ] 基準Ⅳ-A 理事長のリーダーシップ

- 決算及び事業の実績について、理事会の議決前に評議員会に報告されており、私立学校法にのっとり行われていない。(4件)

| | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| H24(1) | H25(0) | H26(2) | H27(1) | H28(0) |
|--------|--------|--------|--------|--------|

- 理事及び評議員が寄附行為に規定する人数を充足していない。(1件)

| | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| H24(0) | H25(0) | H26(0) | H27(0) | H28(1) |
|--------|--------|--------|--------|--------|

基準Ⅳ リーダーシップとガバナンス

[テーマ] 基準Ⅳ-C ガバナンス

- 理事会と評議員会が同時開催となっており、私立学校法にのっとった運営となっていない。(2件)

| | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| H24(1) | H25(0) | H26(0) | H27(1) | H28(0) |
|--------|--------|--------|--------|--------|

- 監事が出席していない理事会、評議員会が開催されるなど、監査業務が適切に行われていない。(6件)

| | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| H24(0) | H25(1) | H26(0) | H27(0) | H28(5) |
|--------|--------|--------|--------|--------|

- 評議員会が寄附行為に規定する人数を充足していない。(2件)

| | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| H24(0) | H25(0) | H26(0) | H27(1) | H28(1) |
|--------|--------|--------|--------|--------|

※ 第1評価期間の第三者評価の「向上・充実のための課題」で指摘された事項が、第2評価期間の評価までに改善されていなかったもの

基準Ⅲ 教育資源と財的資源

[テーマ] 基準Ⅲ-D 財源資源

- 教育研究経費比率が20パーセントを大幅に下回る状況が続いている。(2件)

基準Ⅳ リーダーシップとガバナンス

[テーマ] 基準Ⅳ-B 学長のリーダーシップ

- 合同教授会に関する規程(規定)がない。(1件)

(平成29年4月14日付け 通知文書)

「平成28年度第三者評価を振り返って」から

② 今後の評価に向けての留意点

③ ア. 成績評価において出席点を評価の対象としていることについて(平成28年度評価から指摘事項)

短期大学設置基準第11条の2第2項において、「短期大学は、学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。」と規定されています。この規定にしたがい、シラバスにおいて成績評価の基準を明示されているところですが、その基準に出席点が含まれているケースが散見されました。授業に出席するのは当然のことであり、これを成績評価に加えることは適当ではありません。平成28年度の評価からはこのような場合は指摘することにしましたので、改善いただきますようお願いいたします。なお、これは出席のみをもって評価するのは適当ではないということであり、授業中の態度等を評価することを妨げるものではありません。また、本協会の短期大学評価基準の観点においては、シラバスに必要な項目として「達成目標・到達目標、授業内容、準備学習の内容、授業時間数、成績評価の方法・基準、教科書・参考書等」の明示を求めています。準備学習には、予習と復習がありますのでご留意願います。

③ イ. 履修科目の登録の上限(CAP制)について (第3評価期間に向けての検討課題)

「短期大学設置基準第13条の2第1項において、「短期大学は、学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修するため、卒業の要件として学生が修得すべき単位数について、学生が1年間又は1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限を定めるよう努めなければならない。」と規定されています。単位の実質化を図るためにも、今後、各短期大学におかれてはいわゆるこのCAP制の導入についての検討を進めていただきたいと思います。」

- ④ 平成27年度評価からは、学生募集要項に入学受入れの方針が記載されていない短期大学については、「向上・充実のための課題」で指摘することになりました。各短期大学におかれましては、今一度記載の有無についてご確認いただきたいと思います。
- ⑤ また、各短期大学におかれましては、火災・地震等に備えて防災訓練を実施されていることと存じますが、訓練に学生が参加せずに行われている事例が散見されました。今後想定されている大地震等に備えるためにも、このような場合は、指摘することになりましたのでご留意ください。

今後の評価に向けての留意点

「最後に、教育の継続的な質保証を図るためには、自己点検・評価に積極的に取り組むことが求められます。したがって、自己点検・評価活動は原則として毎年行っていただき、定期的に自己点検・評価報告書等を公表していただくことが必要です。今後より一層の自己点検・評価活動の充実を望みます」

ご清聴ありがとうございました。

第三者評価委員会 副委員長
山口短期大学
理事長・学長 麻生 隆史